ぴーちっこ

発行　社会福祉法人　聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）

地域と信頼の環を結んで
″阿佐谷子育て支援基地″を目指す

聖友ホームの所在地である東京杉並区・阿佐谷地区は、15の町会・自治会と4つの商店会が集まる、ユニークな町会連合会を有しています。聖友学園の子どもたちは、施設建替え工事の間に仮住まいへ移り住み、これまでの阿佐谷地域より拡大したエリアで生活しています。職員の移動範囲が広がったことで、それぞれの町会が趣向を凝らしたイベントやお祭りを企画し街全体をコロナ前以上に活気付けようと奮起する様子を、これまでよりも身近に感じることができるようになりました。まだまだ知らない近隣地域の魅力、心強いネットワークがあることを喜ばしく感じると同時に、私たち聖友ホームも、この地で地域町内会、民生児童委員協議会、小中学校や杉並区社会福祉協議会と協働しながら、地域の皆様にそっと寄り添い、ホッと一息つける集いの場を作り、育児を楽しめるようなイベントを企画して、子育てに携わる皆さんを応援していきたいという気持ちが高まりました。

サロンconicoに集って広がる環

「子育てきずなサロンconico（コニコ）」は、施設の隣の一軒家「ぴーちっこの家」にて、今年の1月より毎月第2・3・4水曜日に開催日を拡大しています。利用者の皆様に「ついつい家みたいに寛いじゃう」「お友達にも薦めちゃいました」と嬉しいお言葉を頂き、お子さんの成長を見届ける貴重な機会を頂いています。

「聖友子育てひろば」では、施設建替え中の今、地域子育てネットワーク事業とし阿佐谷児童館の遊戯室に大型遊具や感触遊び、製作企画を持ち込み、親子で楽しめるイベントを開催しました。

他にも町内会（阿佐谷北松山通り交友会）のお祭り「ゆうやけ市」や、地域コミュニティ施設（ふらっと東原）の「春かぜまつり」「みんなの文化祭」、学童クラブや子ども・子育てプラザのお祭りへの出店、阿佐谷地区民生児童委員会主催の児童館イベント「子育てほっとタイム」にも協力しています。

顔を合わせ、声を掛け合い、地域ですれ違ってもご挨拶や立ち話をできる関係づくりが、孤独な育児環境の改善につながると信じています。建替えを終えた後の園舎で、地域の皆様とどんな出会いがあるだろうかと今から楽しみです。

聖友学園 地域担当職員　中村 朝美

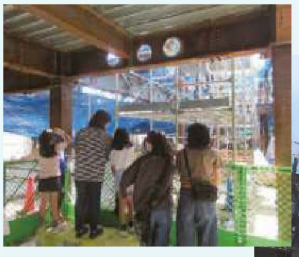
※聖友ホーム地域支援事業の詳細は、東京都地域公益活動推進協議会の「各社会福祉法人の取組み」ページに掲載中です。（令和6年6月25日掲載）どうぞご覧ください。
（右のQRコードからもアクセスできます）

学園　乳児院

合築事業の報告

その⑥

５月には、工事の見学の機会を設け、職員や子どもたちが建設現場の内側から、大きなクレーン車が鉄骨を持ちあげる様子を見ることができました。今は鉄骨の組立てが終りに近づき、３階建ての建物の輪郭がはっきりしてきました。外壁ができると、いよいよ内部の工事が始まります。今は、設計士や建設会社と、壁紙の色など内装の打合せを頻繁に行っています。



乳児院では、食育委員会を中心に子どもたちの食育に取り組んでいます。

食育委員会とは、日々の食事について調理員と連携して子どもたちがより楽しく食事が出来るよう献立の検討・改善や、お芋掘りやお餅つき、BBQ等の食に関する行事の開催を通して、子どもたちの健全な食生活を推進する委員会です。

今回は、4月下旬に子どもたちと一緒にプランターに、ミニトマト、ナス、ピーマンの3種類の夏野菜の苗を植えました。最初に植える野菜と植え方の説明をし、次に苗を植え、最後に水やりをしました。野菜の説明では、皆真剣な表情で職員の説明を聞いており、プランターにスコップで土を入れたり「大きくなぁれ」とお水をあげたりして、楽しく野菜の苗を植えました。その後も、子どもたちとじょうろでお水をあげて、咲いた花やピーマンが大きくなったりミニトマトが実を付けたりしているのを見て、野菜たちの成長を喜び、お世話を楽しんでいました。

ピーマン、ナス、ミニトマトに子どもたちの笑顔

6月初旬に、ピーマンを子どもたちと収穫しました。日頃水を上げてお世話していたので、大きく立派に育ったピーマンを見て、子どもたちの顔に達成感のような表情が見られ、自分で育て、収穫した事をとても嬉しそうにしていました。

収穫した野菜は調理へ持って行き、その日の献立に＋１品として使用し、おかずを作ってくれます。苦手な野菜でも自分が収穫した野菜だと知ると、いつもより頑張って食べてくれる子が多く、子どもたちと野菜を育てて良かったなと思います。夏に向けて、ナスとミニトマトが実を付けてどんどん大きくなっているので、そちらの収穫の際の子どもたちの様子を楽しみにしています。

今後も子どもたちに対し何が出来るのかを考え、子ども一人ひとりが食に興味を持てるよう、またその興味が持続・発展していけるような食育が出来るよう活動していきたいです。

聖友乳児院　保育士　小豆畑 真

読み書き計算を基礎とした
学習支援で児童の自立へつなげる

聖友学園には、学習指導担当職員3名と学校学習委員会職員6名（兼任1名）が配置されており、心理職員も加わった学習支援チームで、子どもたちの学習支援について考えています。

さて、子どもにとっての勉強する理由には、どのようなものがあるでしょうか。
「テストで良い点をとって、偏差値の高い学校に進学したい」「わからないことがわかるようになるのが楽しい」「やらないと怒られるからやる」あるいは「勉強なんかしなくても、生きていけるからしたくない」等々ありますよね。

のび太君や、まる子ちゃんも

のび太君は小学5年生ですが、読めない漢字が多いことに加え、ひらがなの定着も良くありません。文章を読むのが面倒臭く、ひみつ道具の説明書が読めません。あるいは足し算や引き算も苦手なので、スネ夫君たちとの金銭トラブルも多く起こります。
まる子ちゃんは小学3年生ですが、集中力が続かず勉強を後回しにしてしまったり、他のことが気になって勉強が手につかなかったりするので、内容を全然覚えられません。

日本の現代社会で生きていくのには、実に多くの文章やイラストに触れ、内容を正しく理解することが求められています。買い物をするにも計算力が必要です。つまり、ひらがな・カタカナ・漢字が混ざった文章を、スラスラと読んで理解すること、計算することができないと、生きていくのに困ってしまうのです。子どもたち自身も自覚する場面があり、読み書き計算ができないと、他の多くのことにも自信を持てなくなってしまいます。

そのため、聖友学園では基礎基本としての読み書き計算に力を入れ、特に「文字を読む力」に着目し、『読み書き計算を理由に困らず、楽しく生きていける』を目指して支援しています。

何が得意なのかな？

子どもの得意不得意は、一人ひとり違います。７年ほど前から小学１年生以上の全ての子どもを対象に、読み書きスクリーニング検査を実施し、その子が文字・文章をどのように捉え、どのように躓いているかを把握できるよう努めてきました。ホーム職員と情報交換をして、子どもの学習内容・学習量・学習時間がその子に合っているのかどうかも、常に検討しています。

子どもたちが、苦手意識を持たずに「できた」という経験を積み上げ、自分の存在を尊重できるようになってほしい、と願いを込めて支援を続けていきます

聖友学園　心理療法担当職員　永井　啓太

里親子を支えるフォスタリング機関
里親子サポーター　ともさぽ

令和６年４月聖友ホームは東京都のフォスタリング機関事業を受託しました。引継ぎ期間の2月から2名の職員が杉並児童相談所内に配置され、里親支援業務の引継ぎを行い、4月から8名の職員がそろい本格的にスタートをきりました。名称は施設の職員の意見もふまえて「里親子サポーター ともさぽ」に決まりました。

私自身は平成30年の里親等委託調整員が配置された時から、里親支援機関の職員として杉並児童相談所で管内の里親さんとかかわってきて、この度ご縁をいただき聖友学園のフォスタリングチームに仲間入りさせていただきました。今まで定められた業務の中で「もっとこうできたらいいのに」と思っていたことが、包括的支援を行うフォスタリング機関ではできるようになっていくのではないか期待しています。

職員があれこれ知恵を出し合うのはもちろん、里親さんのご理解とご協力は欠かせません。今までと何が変わるのか、変わらないのか、どんな支援ができるようになるのか、丁寧に説明して行きたいと思っています。

そのように里親さんを取り巻く制度が大きく変わる時代の流れの中でも、里親さんと子どもの生活は毎日続いていきます。その生活を変わらず支え続けるため、小さなコミュニケーションを積み重ねていきたいと思います。そして、小さなことでも「ちょっと　ともさぽ　に聞いてみようか」と思ってもらえるような身近な存在としてあり続けたいと思います。

変わらない場所で継続的に里親さんにかかわることができること、あたたかい家庭で成長する子どもの姿を見ることができるありがたさを日々感じています。

杉並児童相談所フォスタリング機関
里親子サポーターともさぽ　里親等委託調整員　原谷 美恵子

ご寄付のお願い

いつも聖友ホームにお心を寄せていただきありがとうございます。改築工事もいよいよ大詰めの段階に入ってまいりました。

完成する生活棟に入れる家具や備品は、できるだけ新しいものにしたいと思っております。引き続き皆様のご支援ご助力をお願いいたします。

《振込先》

①郵便局
記号番号　00160-1-766760
口座名義　聖友ホームささえ隊
②銀行名　ゆうちょ銀行（9900）
支店名　〇一九店（019）
口座番号　0766760（当座預金）
受取人名　セイユウホームササエタイ

発行　社会福祉法人
聖友ホーム
法人本部　TEL 03-3336-9830 FAX 03-3338-4679
聖友乳児院　TEL 03-3338-1849 FAX 03-3338-4679
聖友学園　TEL 03-3338-1844 FAX 03-3338-1894
〒166-0001
東京都杉並区阿佐谷北3-28-19
Eメール　sasaetai@seiyuhome.org　　ホームページ　https://seiyuhome.org